

第2分科会報告「九州の遙拝遺構と熊本県の現状」

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 高谷 和生

1 遙拝（ようはい）

「遙拝」とは、遠く隔たった所から、神仏などを遙かに拝む所作である。特に、戦前からアジア・太平洋戦争期間中を通し、日本内地や外地、所謂大東亜共栄圏内において、宮城（皇居）に向かって敬礼、拝礼する行為を、「宮城・皇居遙拝」と称していた。宮城遙拝は、日本国民が天皇への忠誠を誓う行為の一つとされ、奉安殿内の御真影への敬礼とともに、皇室への崇拝を促し、戦意高揚を図る目的で盛んに行われていた。現在でも伊勢神宮等の神仏のみならず、自然物である富士山等の「遙拝」も行われている。福岡県宗像市大島北端側には、はるか50km離れた沖合の世界遺産「沖ノ島（宗像大社沖津宮）」を遙拝する「沖津宮遙拝所・社殿」が設置されている。



①大島北側の沖津宮遙拝所（宗像市）

2 熊本市北区旧熊本陸軍幼年学校の遙施遺構

□陸軍幼年学校 1896年（明治29年）5月、明治政府は国軍に優秀な将校を育成する必要上、幼年時代より特別教育を行うため、地方幼年学校を東京・仙台・名古屋・大阪・広島・熊本に設立した。熊本陸軍幼年学校は、1897年9月熊本城内棒庵坂上（現監物台樹木園）に開校した。入校者は13歳から16歳未満で、全寮制による生活指導を行い、軍人精神（責任感、判断力、統帥指揮力）の鍛錬が目標にあげられ、少人数の家塾的教育が行われた。城内時代で29期まで、清水台時代で43期から49期までの計2,828人を輩出した。本学の出身者として著名な軍人は、梅津美治朗（第1期）、牛島満（第5期）、牟田口廉也（第7期）、武藤章（第10期）、長勇（第13期）等である。



②熊本幼年学校「右脇門」オルソ図
③右脇門・擁壁の現況

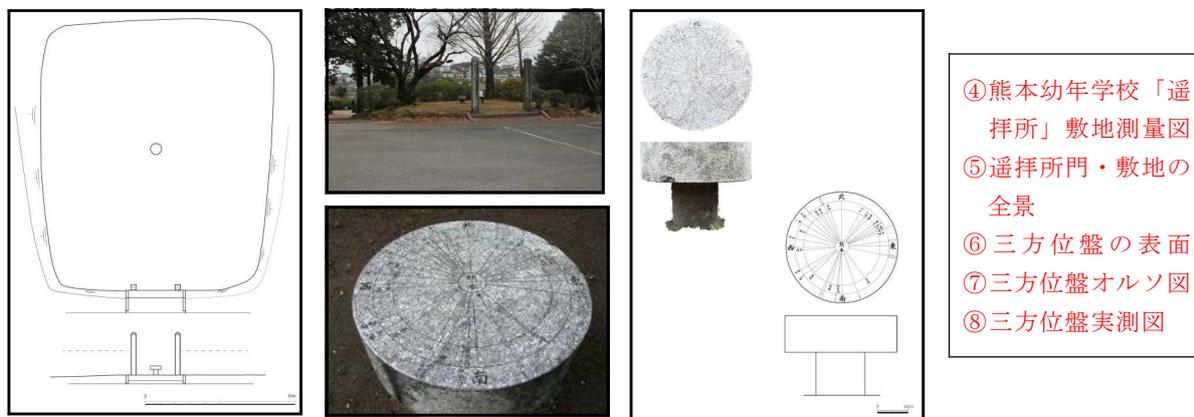
□清水台での熊本陸軍幼年学校

移転された通称「正門」は「脇門」 熊本市北区清水町の陸上自衛隊北熊本駐屯地内旧防衛館の園庭には、通称「正門・コンクリート製擁壁」が移転されている。また、門には「熊本陸軍幼年学校」と刻まれた大理石製標札が埋め込まれている。ただ当時写真2枚と実測図を対比検証したところ、これまで通称正門とされる門は、旧「脇門」とであると判断された。脇門は全高2.35m、断面方形65cmである。

遙拝所と三方位盤 学校敷地の東側、東門に近接し凝灰岩製全高2.95m門柱二本を有する「遙拝所」と呼ばれる区画が現存している。学校生徒が宮城を拝礼し、軍人勅諭を拝読する場所であり、中央には遙拝の要となる径73cm大理石製「三方位盤」が残されている。中心円（第一周）に熊本を、第二周には方位直線、第三周には北から右回りで山口・旭川・広島・

仙臺・京都・大分・大阪・東京・高知・宮崎・鹿児島・那覇・長崎・大連等の主要地名が、最外周である第四周には四方位のほかダッチハーバー・シンガポール・ハルピン等の当時の外地や主要地名が刻字されている。ただ、伊勢神宮は刻字されていない。

また、当地には学校時代の戦争遺構として東門、雄健神社、天覧台等も現存している。



- ④熊本幼年学校「遥拝所」敷地測量図
- ⑤遥拝所門・敷地の全景
- ⑥三方位盤の表面
- ⑦三方位盤オルソ図
- ⑧三方位盤実測図

3 福岡県久留米市の陸軍歩兵聯隊の遥拝台遺構

□陸軍墓地の全容 久留米市野中町の陸軍墓地は、昭和14（1939）年7月に着手し、2年9か月の歳月と経費25万円、延11万2千人の勤労奉仕によって同17年4月10日に竣工式及び鎮靈式が行われた。敷地は約71,000㎡あり、忠霊塔、遥拝台、野外講堂、陸軍橋、放生池、臨川台、参道などの各遺構が残り、現在は大半が久留米競輪場の敷地となっている。この墓地建設は陸軍が主導し、久留米連隊区司令部の所轄範囲である久留米市をはじめ、筑後二市六郡及び佐賀県佐賀市、小城郡など広域の市町村が、資金や労働力を提供し建設に深く関わった。

□遥拝台 赤煉瓦造（ドイツ積みを基本とし一部イギリス積み）で裾広がり円柱状をなし、高さ4.8m、底部径6.0m、屋上径5.8m。外面の曲線が美しく、内部の螺旋階段を登ると屋上中央に遥拝塔が設置されている。西面した方形の花崗岩標柱に「宮城遥拝（側面には皇紀二百六十年）」のてん書字体で刻まれており、この場所から東方（皇居）に向け遥拝したとされる。

4 熊本県の現状

文化財への指定登録等の状況。菊池飛行場ミュージアム・荒尾二造平和資料館の現状を紹介。「山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアム」は一般社団法人錦まち観光協会が運営し、九三式中間練習機実物大模型機を新たに展示。県内戦争遺跡等を網羅した『くまもとの戦争遺産 ～戦後75年平和を祈って』が2020年に刊行。



- ⑨遥拝台全景
- ⑩遥拝台内部らせん階段
- ⑪標柱「宮城遥拝」
- ⑫陸軍墓地配置図